

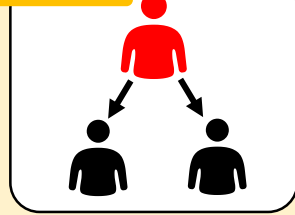
緊急事態宣言発令中

感染力の強い "デルタ株" に注意!

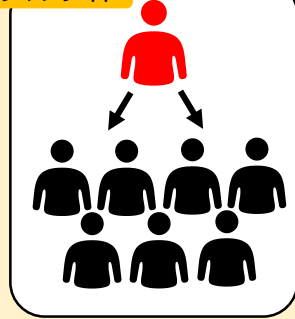
感染力が強い "デルタ株" の脅威

- 感染者1人からうつる人数を示す基本再生産数は**5~9.5人**
(従来株は2人程度)
- 重症化する恐れも高い
- **ワクチンを接種していても**、感染している者もあり、**ワクチン効果で発症しなくても**、感染させる可能性はある
- 従来株と比較して、**人との距離が離れていても**、**会話時間が短時間**でも、感染する可能性が高くなると言われている。

従来株



デルタ株



<理化学研究所のスーパーコンピュータ「富岳」でのシミュレーション結果>

場面	従来株	デルタ株
15分間会話した場合に、感染リスクが10%に達する距離	約 1.25 m	約 2 m
2mの距離で会話した場合に、感染リスクが10%に達する時間	45分程度	20分以内

個人が行える感染対策は
これまで行ってきた
手指消毒、マスク着用、
換気、密の回避

特に重要なこと

- 何らかの症状があるときは外出しない
- 外出は、**少人数・短時間、混雑した場面**を避ける
- 会話は、マスクをしていても**距離をとり、短時間**ですます
- マスクは**隙間なく着用**し、できれば**不織布マスク**を着用
- 換気は、**できれば常時換気** (二方向かつ対角の窓をあける)

マスクはできるだけ性能がよいものを正しく着用

- 飛沫やエアロゾルが、隙間などから漏れたり、侵入したりするのを少しでも防ぐため、

できれば**不織布マスク**を着用

	なし	ウレタン	布マスク		不織布マスク	
				フィルターなし	フィルター入り	ルーズ
吐き出す飛沫量	100%	48%	28%	24%	24%	18%
吸い込む飛沫量	100%	82%	70%	48%	45%	25%

- 飛沫の漏れ・侵入を少しでも防ぐため隙間がなくなるよう**正しく着用**する
性能の良いマスクも、正しく着用しないと効果は落ちる



間違った使用例

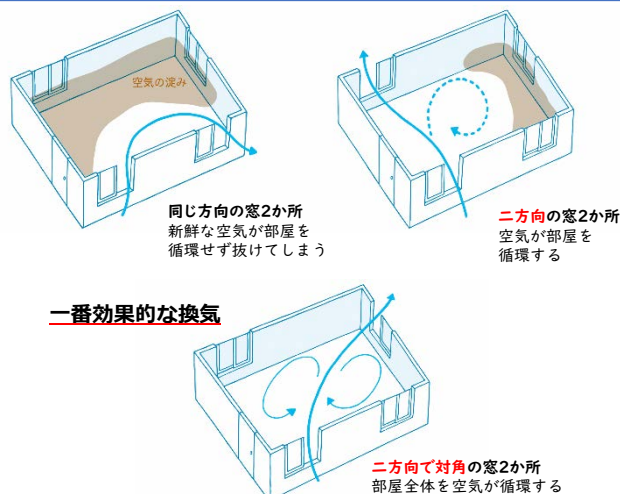


換気 と 距離 が重要

とにかく換気！ ～マスクだけでは防げない～

- マスク着用でも、**隙間から小さな飛沫は漏れ**、空気中を漂い、**エアロゾル感染**の可能性がある。
(活動が活発な場合、空気中に漏れる量が増える)
- **密閉空間**では、長時間空気中を漂うため、**飛沫を受ける可能性高 → 感染リスク高**
- **できれば常時換気**をして、空気中を漂うウイルス量を減らし、**感染リスクを下げる**ことが大切。

換気のポイントは二方向・対角の窓



画像出典：YKK AP ウェブサイト
<https://www.ykkap.co.jp/consumer/satellite/lifestyle/articles/ventilation/>

休憩中、飲食時は距離をとる ～席は対角に～

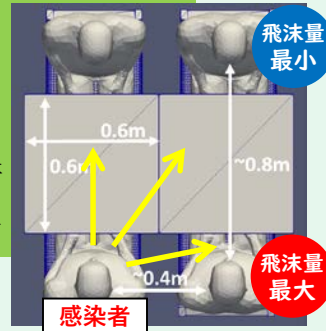
- 感染者が正面、横（隣）、対角に座る人に話しかけた場合
 - ➔ **横（隣）に座る人**への飛沫の届く数が**最も多い**
(正面に座る人の約5倍)
 - ➔ **対角に座る人**への飛沫の届く数が**最も少ない**
(正面に座る人の約1/4)

※飛沫は真っ直ぐに飛ぶ性質があるため、話しかけた人（方向）以外にはほとんど届かない

シミュレーション内容

飲食店で1分間程度会話をした場面を想定（マスクなし）

提供：理研 豊橋技科大 神戸大
協力：京工織大 サントリー 凸版印刷



屋外でも距離が必要

飛沫は約2mとぶ
風向きによっては、広範囲に

マスクなしでは、2m程度の距離
マスクありでも1m以上空けて
隙間から漏れたエアロゾルを吸い込まないため

シミュレーション内容

30秒間大声で発話したときの飛沫到達数
(感染者の後ろから風速0.5m/s)

屋外でテーブルを囲んで飲食している場面を想定（マスクなし）

提供：理研 神戸大
協力：豊橋技科大 京工織大 東工大 九大

